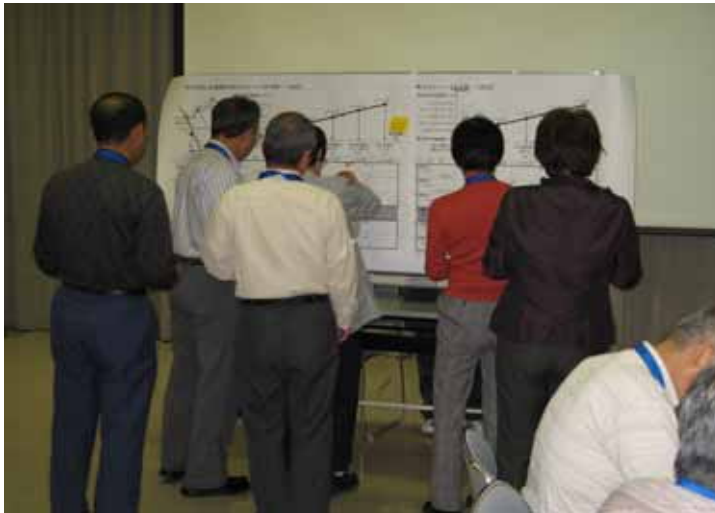


第6、7回専門部会を10月18日と11月8日に開催しました。

第4、5回ワークショップを開きました。

第4、5回ワークショップが行われ、整備計画の方向性について熱のこもった議論がされました。

今小路通りの整備計画を策定するに当たり、どのレベルまで歩行空間を充実するか、各委員の考え方を表すため、第4回は平日、休日別に考え方を「歩行空間と交通規制の考え方シート（P3 ページ参照）」にシールを貼りました。第5回は平日の考え方を「歩行空間と交通規制の考え方シート」にシールを貼るとともに、その理由についても発表してもらいました。



■ どの位歩行空間を充実したいと
考えていますか。

車の走行の自由度と歩行空間の充実度の比重を「歩行空間と交通規制の考え方シート」にシールを貼る委員の皆さん。

この作業は、委員一人々が議論を重ねていく過程で、「歩行者尊重道路」のレベルを区間別にどの位と考えているかを表すことにより、各委員の考え方を共有し計画づくりに役立てようとするもの。

■ 専門部会の進捗状況

第一回 今小路通り歩行者尊重道路専門部会の目的や取り組みについて、事務局から説明を行い最新の交通量のデータなどを基に意見交換を行いました。

第二回 専門部会の進め方について議論を行いました。

・ 5月3日に行った現地調査結果と交通量調査結果を基に意見交換を行いました。

第三回 今小路通りの現状と問題点について、ワークショップ形式で議論しました。

・ 3グループに分かれて問題点や課題を洗い出し、意見交換を行いました。

第四回 今小路通りの現状と問題点について、ワークショップ形式で議論しました。

・ 前回に引き続き問題点や課題の洗い出しを行いました。

第五回 整備の基本的な考え方について、ワークショップ形式で議論しました。

・ 整備の方向性を議論するため、その前提条件の確認をしました。

① 現道内で考えられる計画案とする。

② 沿道開発時のセットバックは考えない。

③ 電柱の地中化は考えない。

・ 速度調査結果の報告

・ 先進事例の紹介

第六回 整備の基本的な考え方について、ワークショップ形式で議論しました。

・ 整備計画のイメージの共有化を図るため、「歩行空間と交通規制の考え方」シートを使い、委員の考えに最も近い整備の考え方のレベルの欄にシールを貼りました。

第七回 整備の基本的な考え方について、全体会議を行いました。

・ 各委員が考えている「歩行空間の充実度」のレベルの欄にシールを貼り、その理由を全体会議の中で発表しました。

■ 第4回ワークショップ 今小路通り歩行者尊重道路整備の意見整理表

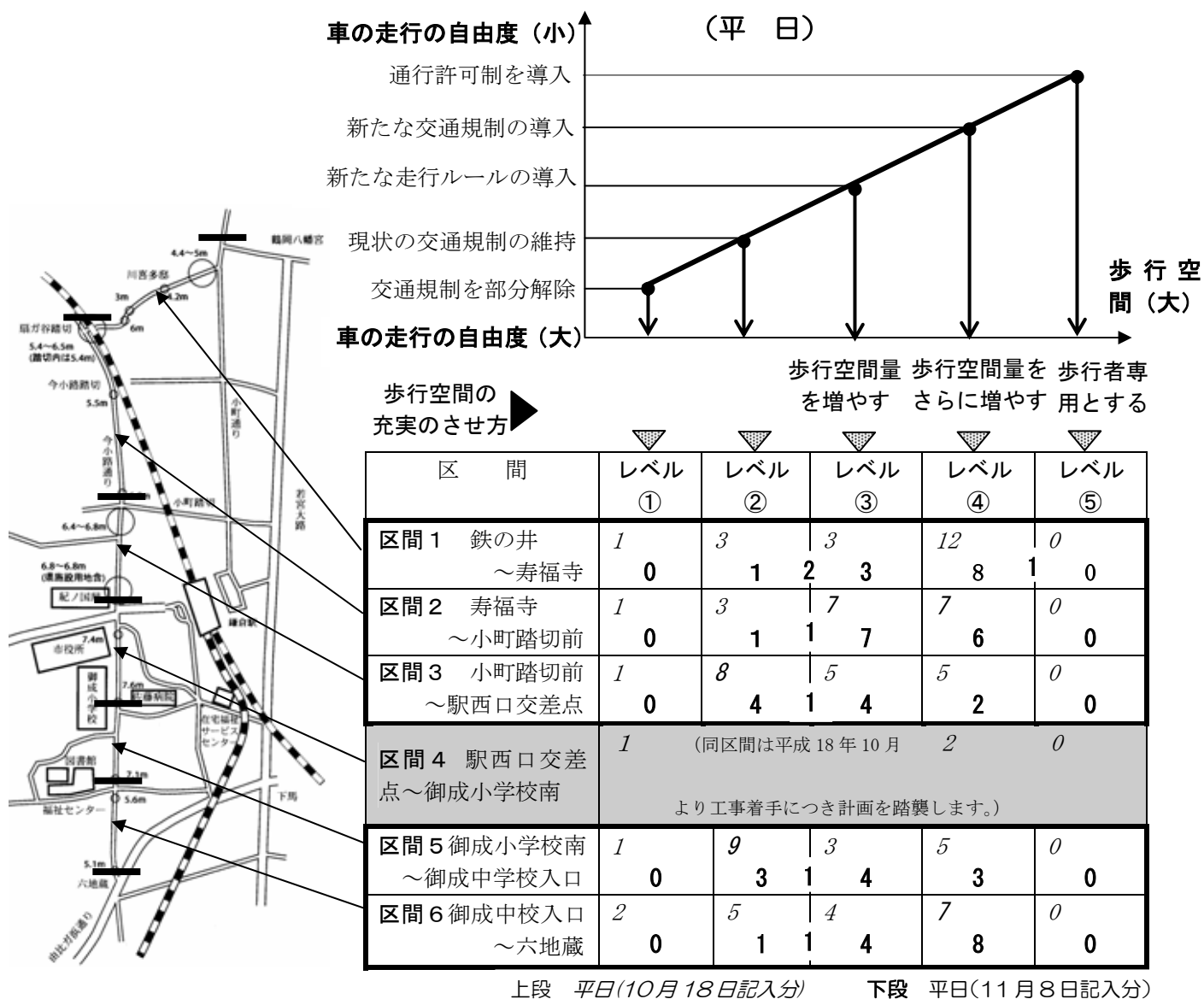
		いつを対象として			このようにしたい	理由・効果など
		平日	土日休日	通年		
道路整備に関すること	道路断面の変更			●	<ul style="list-style-type: none"> ・両側に歩道を全てに設ける ・千度小路に抜ける横須賀線の踏切を拡幅する。 ・セミフラット形式で歩道幅を広げ車道を狭める。 ・六地藏～御成中学校入口の間に歩道を設ける。 ・歩道がない区間にたとえ狭くても歩道を設ける。 ・六地藏付近の拡幅が出来ないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道があると安心して歩ける。 ・歩行者の安全を確保できる。 ・安全性が確保できるから。
	部分的な修復			●	<ul style="list-style-type: none"> ・両側にある電柱を片側に寄せて歩道を確保する。 ・六地藏～御成中学校入口は、電柱を隅に移設する。 ・ギリギリ電柱 	
	車の速度を抑える工夫			●	<ul style="list-style-type: none"> ・適当な間隔にプランターを置き道路幅員を狭くしてはどうか。 ・歩行者優先道路であることをPRする。(路上ペイントなどで標識を強化。)、歩行者通路のカラー舗装、道路の色の逆転、石だたみ、標識(表示を大きく)、道路標識の整備 ・離合限定箇所、優先方向を矢印など標識で示す。 ・市役所前交差点～小町踏切の歩道を無くしボラードを設置する。 ・小町踏切をはじめ数箇所にハンプを設置する。川喜多邸付近はイメージハンプを。植物を植えて、その部分の出っ張りを作り速度を落とさせる。 ・車がすれ違う時、白線内に入って来るので突起物等、強烈な色等で運転者の視覚に訴える方策を設ける必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スピードダウンが期待できる ・物理的にスピードを抑制する。 ・物理的にスピードを抑制する。 ・スピードコントロール ・従来の一本の白線では不可能
交通規制に関すること	交通規制の変更	●	● ● ● ● ●	● ● ● ●	<ul style="list-style-type: none"> ・六地藏～御成中学校入口を交互通行とする。 ・御成中学校入口の交通規制を解除する。 ・速度規制の強化、制限の必要がある。 ・原則として居住者及び営業車等、緊急車以外の車両通行を禁止する。 ・寿福寺～鉄の井、観光客の多い時間帯は通行止め ・通学時間帯の規制 ・ある程度の車を規制する。 ・一方通行を基本に考える。 ・主婦の買い物帰りの時間を限って車両を制限する ・ライジングボラード 	<p>(昼7:00～17:00)</p> <p>(時間帯規制)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学路の安全を考えて。 ・寿福寺～市役所交差点まで車が渋滞しない程度に。(GW・祝日) ・歩道確保には一方通行しかない等。 <p>(夕方)</p> <p>(許可制)</p>
その他	駐車場に関すること			●	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の出入り円滑に行う。 	

■ 歩行空間と交通規制の考え方シート

この作業は、委員一人々が議論を重ねていく過程で、「歩行空間」をどの位必要としているかを区間別に表してもらい、これからの具体的プランに役立てようとするものです。

11月8日の1回目では、鉄の井～寿福寺と寿福寺～小町踏切前区間は、多くの委員が車の走行をある程度制限しても、歩行空間を増やしたいと考えていますが、他の区間では考え方に開きが見えます。

11月18日の2回目では、レベル①は無くなり、安心して歩くことが出来る道を作りたいという方向性は確認されましたが、まだまだ歩行空間の考え方に開きが見えますので、どの位の歩行空間が必要なのか専門部会で議論を重ねまとめていく予定です。



編集後記

御成小学校の5年生による「今小路通り探検隊」による「ヒヤリ・ハット地図」が完成し、地下道ギャラリーへ展示されました。

展示の準備をしている最中にも、市民の方が立ち止って見ていかれる光景も見られました。

これからも、多くの市民の方に「今小路通り歩行者尊重道路」の取り組みを理解していただくため、いろいろな機会を利用してお知らせしていきたいと考えております。

なお、11月5日放送のクイズ形式のバラエティー番組「平成教育委員会」で、鎌倉市が渋滞解消策の一環として取り組んでいる、「パークアンドライド」について取り上げていました。

番組で使った写真は、「由比ガ浜パークアンドライド」のもので

す。女優の紺野美佐子さんが、驚くほど正確に答えられておりました。

■ 今小路通り探検隊の発表会が開かれま

した。

10月20日、御成小学校ランチルームにて、保護者の方や鎌倉警察署交通課の方々などが招かれ、今小路探検隊の調査発表会が開かれました。今小路通りを3区間に分けて、各区間を4つの班が担当し調査を行いました。

- ・道路が狭い
- ・クリーンステーションが路側にある
- ・ガードレールがない。
- ・路側線が無いところがある



今小路通りに関連するクイズを取り入れるなど、各班工夫を凝らした「ヒヤリ・ハット地図」が出来上がり、発表する子どもたち。



専門部会への意見募集

「今小路通り歩行者専門部会」では、歩行者尊重道路整備計画について皆様からのご意見を募集しています。

「今小路通り歩行者尊重道路専門部会」事務局（交通政策課）までご意見をお寄せください。

TEL:0467-23-3000（内線 2511）

FAX:0467-23-8520

E-mail koutsu@city.kamakura.kanagawa.jp